

NO.  
6

特集  
主婦的状况

をえぐる



エロス

とびら絵

薄奈々美 3

特集 ●主婦的状况をえぐる

今、この場で生ききろう

風見郁子 8

鎖は我が手で断て

名無川砂利 27

差別されてこそ見えるものが

坂元良江 50

紅の寒椿

溝口明代 67

未来へ

高良留美子 77

【連載】女の労働(4) 主婦労働

河野信子 86

【裁かれる女】夫のものは妻のものか

中島通子 95

【女六法】法制審議会民法部会身分法小委員会中間報告(抄録)

103

●女狙撃兵攪乱

I・U・Dは安全か

真ひろ子 108

『ヤングレディー』を訴える

井上節子 112

甘い密はもうごめん

畑沢愛子 115

でるわでるわ性差別

高木アイ子 120

女は職場でこそ群れつどう

岡本房子 123

ことばを生きる

天野みちみ 126

おんな独自の身体論序説

黒田章子 132

たかが改姓じゃないかって?!

藤本百世 137

世間の風は冷たそう

石橋容子 138

子の心知ってか知らずか

吉清一江 140

【連載】荒野に叫ぶ声——女收容所列島(1)

霰石とみ 145

子どもがはじめてであう絵本

子どもの本を読もう会 146

女たちの本せいぞろい

今西千賀子 181

女かわら版 144・189・190

合評会のお知らせ 175

編集後記 191

表紙レイアウト・橋本寿絵

題字・カット・山内静香

特集とびら絵・降矢洋子

女狙撃兵とびら絵・小林和子

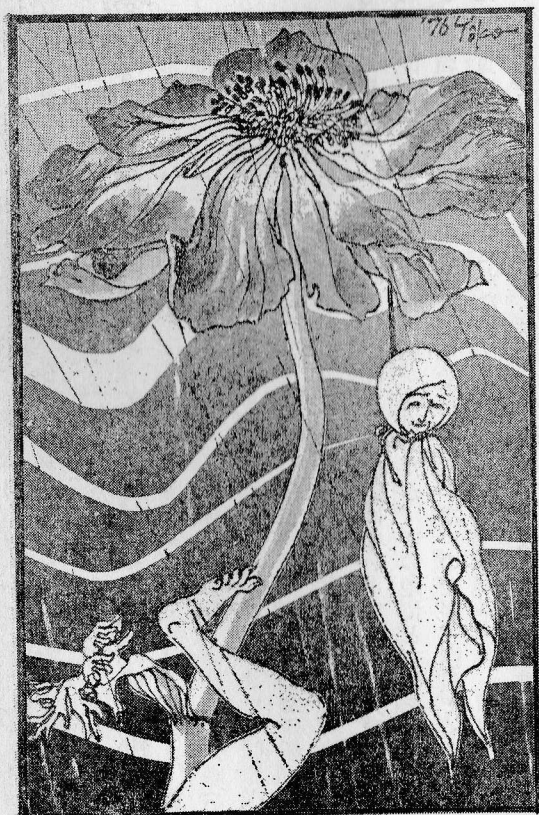
## 特集・主婦的状況をえぐる

創刊当時、私たち編集メンバーは、特集に主婦問題はとりあげない方針で一致していた。男からの自立を歩み始めていた私たちにあって、主婦的生活とは、女の産む性をよりどころとした自己保身的排他的意識をうむものでしかなく、そのような意識は、社会がかくあれと規定する女の像に自縛されることによって、女が人として対等に生かされてこなかった歴史に抗う力にはならないと、確信していた。だから、主婦的生活には何の魅力もなく、それに目をむけることは、私たちの歩みをおしとどめる以外のなものにも見えなかった。

自らが主婦的生活を拒み、主婦的意識をそぎおとしていくこと、主婦としてでなく、自立した一人の女として、私たち自身の生と性を切りひらいていくこと、そして同じ想いの女たちと手を結ぶことを願って「女・エロス」は産ぶ声をあげた。しかし、号を重ねるにつれて、私たちが拒否しようとした主婦的生活、主婦的意識そのものから私たち自身も決して自由ではないこと、自分と「主婦」を距離で計りながら、自分の生き方をさぐっていることに気づいた。

社会が、女を「主婦」としてうみだす構造にあり、女は産まれる

や否や、主婦予備軍としての教育・文化の中で成長していく状況を私たちは「主婦的状況」とよぶ。すべての女、いや男でさえもこの「主婦的状況」から無縁ではない。「主婦的状況」の中では、どのような性も無残である。解放と自己破壊が表裏となるエロスの女神は、いまだどこに深々とねむっているのであろうか。それは「主婦的状況」に抗うわたらの湧き立つエネルギーの中に……。



降矢洋子